

平成 28 年度 第 3 回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 28 年 6 月 3 日 午前 9 時 30 分から

場所 宍粟市役所 402 会議室

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成28年6月3日（金） 午前9時30分 ～ 午前10時28分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6

宍粟市役所 402会議室

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

教育委員	西岡章寿	教育長	杉本健三	委員
	弓削ルリコ	委員	前田純恵	委員
	金本一二	委員		

事務局

藤原卓郎	教育部長	前田正人	教育部次長
橋本 徹	教育総務課長	山本哲史	学校教育課長
中尾善弘	こども未来課長	田路正幸	社会教育文化財課長
大前和浩	学校給食センター所長	中尾美恵子	教育総務課副課長
樽本勝弘	市民協働課長		

3 開会

西岡教育長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、西岡教育長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、西岡教育長の指名により、次のとおり決定された。

杉本委員

6 前回会議録の承認

平成28年度第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、橋本教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の2点について西岡教育長が報告した。

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

一宮南地区の学校規模適正化については、第5回正副会長会が5月24日に開催され、第6回協議会を6月15日開催予定とし、校章デザインの選定方法などについて協議することと決定された。

幼保一元化については、波賀、一宮南、山崎南（戸原地区）の各地域の委員会について、6月～7月開催に向け、各種関係団体と調整し、委員等の選任を行っている。一宮北地区については、協議会設立に向けて委員等の調整を行っている。

(2) その他事業について

昨年度実施した理科おもしろ実験教室を今年度も実施する。学習指導要領において充実が求められている観察・実験活動等について、科学の専門家による特別授業を実施し、児童生徒の理科への興味関心を高めることを目的としている。講師は、神戸常盤大学教授である。

千種 B&G 海洋センターの指定管理者については、5月の臨時議会において提案通り可決、決定した。

8 議事

第5号議案「宍粟市スポーツ施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について」

第5号議案は、千種 B&G 海洋センターの竣工並びに指定管理者の決定に伴い、平成28年7月1日から供用を開始するにあたり、その時期を定める規則を制定しようとするを橋本教育総務課長が説明した。

審議の結果、全員「異議なし」とし、同意することを決定された。

9 協議報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化推進状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、学校規模適正化について橋本教育総務課長が、幼保一元化について、ちくさ杉の子どもの園の宍粟市認定子ども園運営ガイドラインに基づく検証結果及び今後の幼保一元化の進め方について中尾こども未来課長が報告した。

(2) 平成28年度教員マイスターについて

資料2「平成28年度教員マイスター制度要項」により、山本学校教育課長が報告した。

(3) 理科おもしろ実験教室の実施予定について

資料3「理科おもしろ実験教室」により、山本学校教育課長が報告した。

(4) 学校給食における異物混入の状況について

資料4「平成28年度学校給食センター異物混入状況及び対策」により、大前学校給食センター所長が報告した。

(5) 宍粟市千種 B&G 海洋センターについて

資料5「宍粟市千種 B&G 海洋センター」により、樽本市民協働課長が報告した。

(6) その他

「教育用タブレット PC・大型モニターの入札結果について」を資料6により、橋本教育総務課長が報告した。

「進路状況調査集計表について」を資料7により、山本学校教育課長が報告した。

「学校訪問日程について」を資料 8 により、山本学校教育課長が報告した。

「市民大学講座について」を資料 9 により、田路社会教育文化財課長が報告した。

「宍粟市スポーツ推進委員の委嘱について」を資料 10 により、樽本市民協働課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局等の説明

(前田委員)

認定こども園であるちくさ杉の子こども園の保育料はどのようになっているか。保護者から問い合わせや質問はないか。

(こども未来課長)

保育料については、1号認定の幼稚園部と2号認定の保育所3歳児以上児部、3号認定の保育所3歳未満児部まであり、所得に応じた保育料となっている。1号認定の幼稚園部分の利用については、市立幼稚園保育料と同額であるが、2号認定の子どもの保育料については時間数に合わせて軽減している。保護者からの問い合わせなどはない。

(杉本委員)

教員マイスター制度について、良い制度であり、適切に制度運用され、一層の指導力向上をお願いする。教員マイスターは年度により入れ替わりがあるのか。退任された元教員マイスターには何か次の役割があるのか。教員マイスターがより重みのある職となるよう元教員マイスターの活用検討をしてはどうか。

また、現在9教科あるが、道徳や生徒指導などにも制度拡大してはどうか。

(前田委員)

教員マイスターに認定された教員は、既存の職務もあるが、マイスターの職務が負担になることはないのか。退職教員のマイスター起用なども考えてはどうか。

(学校教育課長)

元教員マイスターは教科等指導員や主幹教諭、管理職になられたりしているが、元教員マイスターを活かすような制度はないため、今後検討したい。生徒指導等のマイスターについては、その分野で研究されている教員もあり、教員マイスター制度への導入を検討したが、今年度は昨年度9教科に増加させた経緯もあり、その検証を行うこととして見送っている。今後ぜひ検討していきたい。

教員マイスターの主な職務は、自身の授業公開やその授業での指導留意点等を伝えることで指導を行うこととしており、大きな負担が生じないよう配慮している。

退職教員は、再任用や必要に応じ非常勤職員などにも任用している。

(教育長)

退職教員は、校内研修会の講師なども依頼している。

(弓削委員)

退職教員の再任用などは、本人の希望なのか。

(学校教育課長)

再任用制度は、本人の希望を聞き任用する。双方のニーズに合わせて、非常勤職員なども含めた任用としている。

(金本委員)

学校給食における異物混入について、5月は混入がなかったが、何か対策等を講じた結果であるか。
学校給食については、「命をいただいて命をつなぐ」という食育の面も含めてすすめていただきたいが、給食の残飯は多く出ているか。

(学校給食センター所長)

異物混入について、4月以降特段の対策を講じたわけではないが、日ごろの対策に職員が留意した結果であると考えている。学校給食の残飯については、学校により差もある。市全体では約98%の喫食率であり、ほぼ喫食していると言えるが、100%の喫食をめざしていきたい。

(金本委員)

千種 B&G 海洋センターのプールは小学校やこども園、図書館と隣接しているが、駐車場は確保されているのか。行事などが重なると駐車場が一杯になるのではないかと。対策として、市道からこども園に入る道路横の用水路上を塞ぎ、歩けるようにしてはどうか。

(市民協働課長)

千種 B&G 海洋センター平面図にもあるように約20台の駐車スペースができる。道路は小学校のグラウンド側に若干拡張している。

(弓削委員)

学校給食費について、全国で約46%の自治体で未納があると報じられていたが、宍粟市では給食費の未納はあるのか。3ヶ月未納となれば、給食を差し止めることにした自治体では、未納者が給食費を支払ったと聞いた。宍粟市で給食の差し止めなどはあるのか。

(学校給食センター所長)

学校給食費の現年度分については、学校で徴収し、過年度分については学校給食センターより督促等を行っている。平成27年度の催告は49件、35名で、滞納額は約350万円であった。今後も徴収に努める。

(教育部長)

学校給食費未納による給食の差し止め措置については、宍粟市では児童生徒の食育の観点から実施できないと考えている。

11 次回会議の招集について

平成28年7月22日（金）午後2時30分から開催すると決定した。

12 閉会

杉本委員が閉会した。

以上 午前10時28分終了